

日本遺産認定！

岡山県 笠岡諸島

知ってる!?悠久の時間が流れる石の島
～海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～

NPO法人かさおか島づくり海社
笠岡市

笠岡諸島のご紹介

広島県の県境にある笠岡市



本土から定期船で1時間以内



かさおか島づくり海社のあゆみ

沿革

- | | | | |
|------------------|---|------------------|--|
| 1996年
(平成8年) | ゲンキ笠岡まちづくり支援事業(笠岡市) | 2005年
(平成17年) | 笠岡諸島の弁当「しまべん」発表 |
| 1997年
(平成9年) | ゲンキ笠岡まちづくりフェスティバル開催
島おこし討論会開催
島をゲンキにする会発足 | | 北木島にて須磨学園中学校サマーキャンプの
受入れ開始 |
| 1998年
(平成10年) | 第1回島の大運動会開催(北木島) | | 笠岡諸島フィルムコミッションで初の映画誘致
「旅の贈り物 0:00発」 |
| 1999年
(平成11年) | 笠岡諸島生き生き会(女性ネット)発足 | | 笠岡諸島空き家めぐりツアー開始 |
| 2000年
(平成12年) | 笠岡諸島ホームヘルパー2級養成講座実施
第1回島づくり研修会開催(白石島) | 2006年
(平成18年) | かさおか島づくり海社としてNPO法人格取得
北木島で過疎地有償運送事業開始
幼児育成施設「六島あゆみ園」開園 |
| 2001年
(平成13年) | 笠岡市が市長特命組織「島おこし海援隊」設置
飛島で診療所の開設 | 2007年
(平成19年) | 介護保険事業「海社デイサービスほほえみ」開所
島の特産品直売所
アンテナショップ「ゆめポート」運営開始 |
| 2002年
(平成14年) | 電脳笠岡ふるさ島づくり海社設立(島民組織)
笠岡諸島フィルムコミッション設立
笠岡諸島空き家対策事業開始(高島から)
笠岡市立北木島診療所の開設
笠岡市立真鍋島診療所に看護師常駐 | 2008年
(平成20年) | 真鍋島回漕店運営開始
笠岡住吉港に「特設島づくり海社案内所」開設
島づくり仕事人塾開設
第1回真鍋島で子育て島せんかツアー(移住促進)開催
「岡山商科大学」と「笠岡市」との産官学連携に
関する包括連携協定 締結 |
| 2003年
(平成15年) | 買い物支援事業「島のお達者便」
(北木島豊浦地区で開始(のちの島のきずな便)) | | |
| 2004年
(平成16年) | 笠岡諸島空き家対策事業で初の移住者(高島)
フェリー乗り場環境改善のため
伏越港駐車場「島海車」運営開始 | | |

かさおか島づくり海社のあゆみ

沿革

- | | | | |
|------------------|---|------------------|--|
| 2009年
(平成21年) | 子ども島づくり会議ーコジマ会議ー開催
「海社デイサービスすみれ」開所
「海社デイサービスだんだんの家」開所
灰干しの製造・加工・販売を開始(株式会社島のこし)
真鍋島公会堂「五里五里」開設
「婆ちやるショップ高島屋」開設(高島) | 2014年
(平成26年) | 買い物支援事業「島のきずな便」六島で開始
北木ノースデザインプロジェクト開催
瀬戸内海における国際海洋観光ネットワーク構築
フォーラム開催
地域観光プロデューサー養成事業受託
本部事務所を旧豊浦幼稚園園舎へ移転 |
| 2010年
(平成22年) | 特産品通販サイト「笠岡ええもん屋」運営開始 | 2015年
(平成27年) | 北木島宿泊研修所・高齢者共同生活住居
「石切りの杜」笠岡市より指定管理受託 |
| 2011年
(平成23年) | 「海社デイサービスうららの家」開所
青少年の島「梶子島」岡山県より管理運営受託
東日本大震災を受け島内の空き家を被災者に疎開地として提供する事業開始
同時に支援物資を被災地へ提供 | 2016年
(平成28年) | 北木島下浦海水浴場 海の家「海ほたる」開始
島の特産品直売所
アンテナショップ「ゆめポート」運営休業 |
| 2012年
(平成24年) | 白石島回漕店「し〜ポート」運営開始
笠岡諸島定期船航路統合記念事業実施
ミステリーツアー「航路長餅」配布 | 2017年
(平成29年) | 離島と企業をつなぐ「しまっちんぐ2017」参加
「瀬戸の島のりせんべい」試作・販売
豊浦地区交流拠点整備事業実施
灰干し「魚々干し」がかさおかブランドに認定 |
| 2013年
(平成25年) | 笠岡市制施行60周年記念事業「島の大学芸会」開催
買い物支援事業「島のきずな便」北木島豊浦で開始 | 2018年
(平成30年) | 祝！「第20回島の大運動会」白石島で開催 |

かさおか島づくり海社のあゆみ

沿革

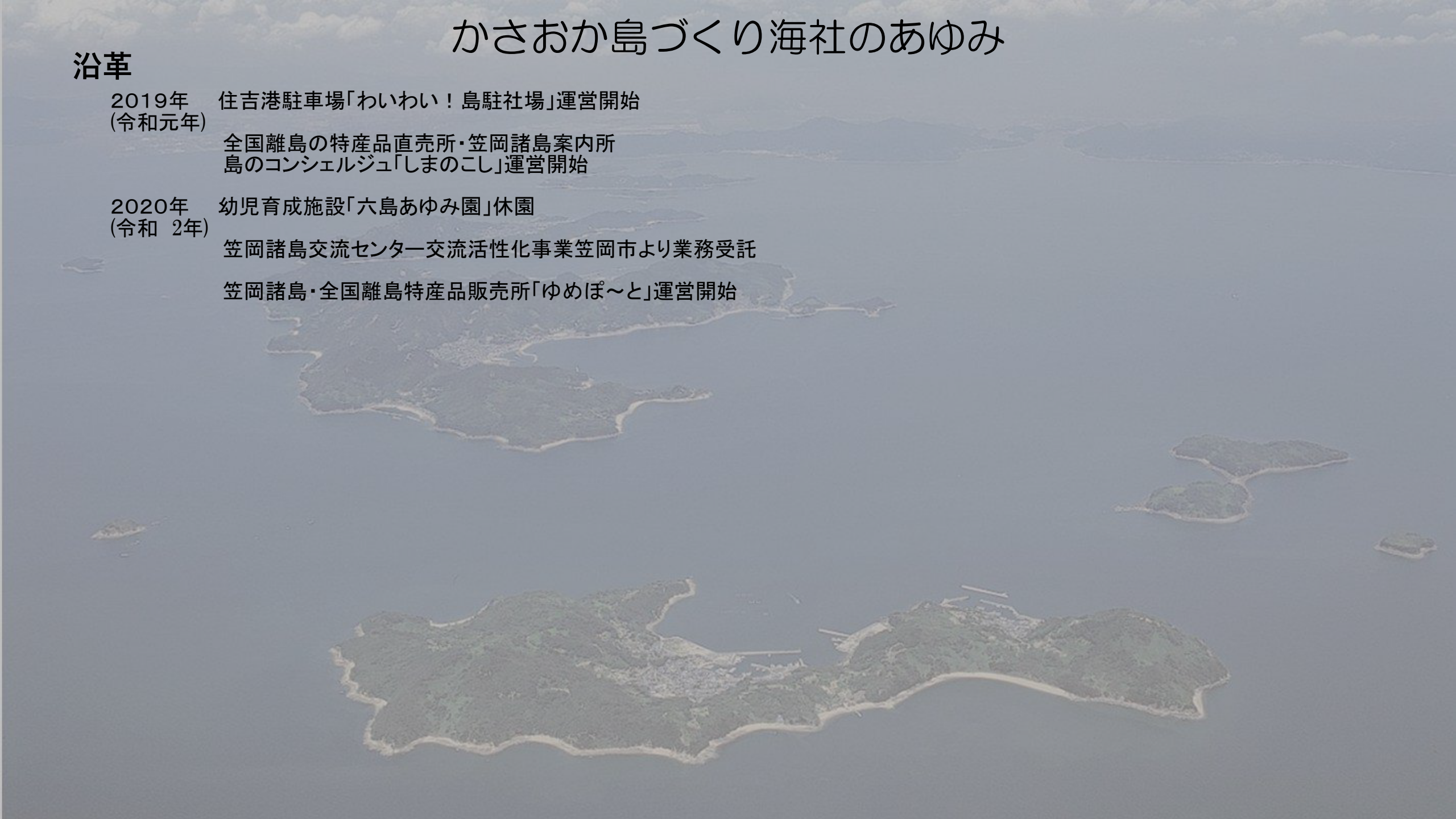
2019年 住吉港駐車場「わいわい！島駐社場」運営開始
(令和元年)

全国離島の特産品直売所・笠岡諸島案内所
島のコンシェルジュ「しまのこし」運営開始

2020年 幼児育成施設「六島あゆみ園」休園
(令和 2年)

笠岡諸島交流センター交流活性化事業笠岡市より業務受託

笠岡諸島・全国離島特産品販売所「ゆめぽ〜と」運営開始



主な賞歴

- 2002年
(平成14年) 地域づくり表彰 総務大臣賞受賞
(活力のあるまちづくり 人づくり部門)
- 2007年
(平成19年) 地域づくり表彰 国土交通大臣賞受賞
地域づくり全国交流会議 四万十大会実行委員会会長賞受賞
- 2008年
(平成20年) 岡山県夢づくり推進大賞 岡山県知事賞受賞
生涯学習功労者表彰 岡山県教育委員会賞受賞
立ち上がる農山漁村 選定
- 2010年
(平成22年) 豊かな村づくり表彰 農林水産大臣賞受賞
- 2016年
(平成28年) 地域再生大賞 大賞受賞
- 2018年
(平成30年) よっちゃんれの夜2018出場 準優勝受賞
- 2019年
(平成31年) 山陽新聞奨励賞受賞 (社会部門)
- 2019年
(令和元年) よっちゃんれの夜2019出場 最優秀賞受賞

かさおか島づくり海社の取組

暮らしサポート



産業・取組サポート



交流サポート



学びサポート





笠岡諸島が掲げる 島のVisionとは？

“私たちのVision”

島民がいきいき暮らす笠岡諸島

～未来づくりに取り組む挑戦者、求む皿～

A man and a woman are sitting on a wooden bench in a traditional Japanese-style room. The woman is on the left, wearing a black cardigan over a beige top and a long beige skirt. The man is on the right, wearing a white polo shirt, a purple hoodie, and a grey cap. They are both smiling. The background features wooden walls, a window with a view of greenery, and a potted plant on a table to the right.

わたしたちが

企業とやりたいこと

島々間のコネクション改善

- 島と島の上に直行便がない場所もある
(例：北木島ー六島)
- 現在の海上輸送は時間的、経済的に大きなロスが発生している



新たなデバイスによりコネクションを改善したい！

石材工場の再利用

- 特に北木島島内に多くの空き工場が存在する
- 外装や内装が綺麗なものも多い
- この空き工場を利用し、働く場所を創りたい



産品の販路拡大と担い手育成

- 笠岡諸島の特産品を販売中
- 眠った地域資源を活用して、新たな特産品を開発したい！
- ロット数が少なくても収益性が出るモデルを作りたい！



マッチングに向けて



さいごに：私たちの想い

島で生まれ

島で育った人たちが

島で住み続けられる・・・